大阪府に大きな被害をもたらした過去の気象事例
「平成11年（1999年）6月23日～7月3日の大雨」<梅雨前線>

気象庁 大阪管区気象台
Osaka Regional Headquarters,JMA

梅雨前線による長期間の大雨。大阪では期間中、371.5ミリの大雨。

【概況】

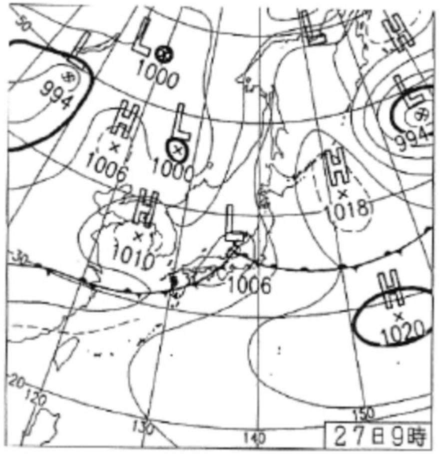
6月23日から30日にかけて、西日本は梅雨前線が停滞し、前線上を次々に低気圧が通過し、雨が降り続いた。29日から30日にかけて、大阪府の北西部を中心に大雨が降った。27日07時10分から11時30分にかけて、又29日13時20分から30日03時50分にかけて大雨・洪水警報を発表した。

また、7月2日から3日にかけて日本海を低気圧が北東進し、低気圧から伸びる寒冷前線が3日午後に近畿地方を通過した。このため大阪府下では、雷による被害が相次いだ。

大阪府の6月23日から7月3日までの期間降水量（多い所）：箕面487ミリ　大阪371.5ミリ

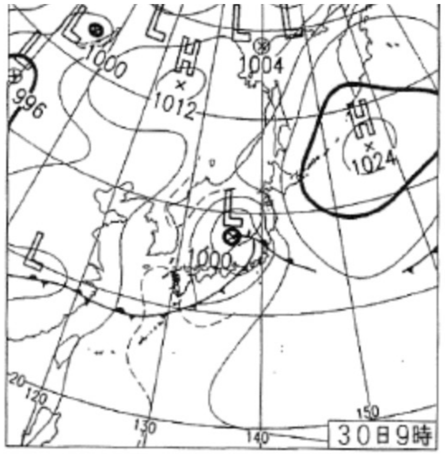
（被害状況）<大阪府>住家被害（一部損壊）：1棟　床上浸水：97棟　床下浸水：1,246棟

（被害状況：「平成11年6月23日～7月3日の大雨による被害 平成11年7月26日消防庁まとめ」より）



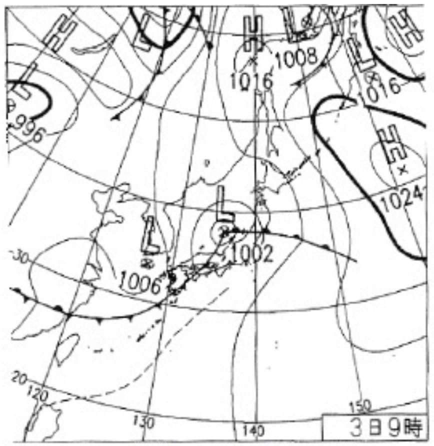
天気図(09h)

地上天気図　6月27日09時



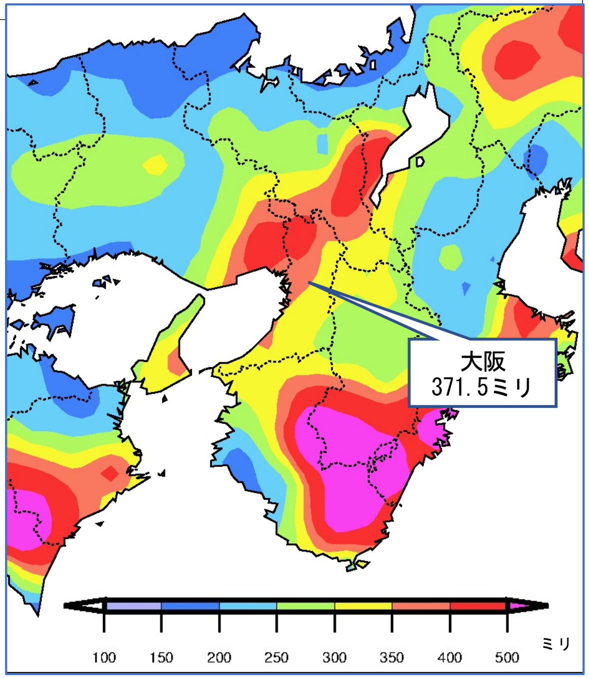
天気図(09h)

地上天気図　6月30日09時



天気図(09h)

地上天気図　7月3日09時



降水量分布
（6月23日～7月3日）